



第4会場●4F 大研修室

■司 会／眞鍋 幸一 愛媛県教育委員会事務局教育総務課 課長
吉山 礼子 山口県宇部市教育委員会学校教育課 指導主事

分科会の進め方

10:45~10:50

1 全地域網羅の「夏休みフリー塾」一つなげよう地域と子ども

10:50~11:20

NPO法人岡山市子どもセンター・子ども劇場、岡山市立公民館（岡山県岡山市）
美咲美佐子（岡山県岡山市） NPO法人岡山市子どもセンター 代表理事

スタートは2001年。「NPO法人岡山市子どもセンター」を設立し、岡山市全域で夏期休暇中の子どもの居場所づくり事業を開始した。市の全域をカバーした活動場所は、公民館、学校、コミュニティハウス、児童センターなど多様である。本事業の中心理念は、子どもが楽しみながら実体験活動の機会を提供することであり、副次的には中・高生、地域住民のボランティア参加を通して交流・信頼・支援のネットワークを広げることである。カギは「子ども観の共有」と「地域再生のネットワークづくり」である。プログラムは、工作、科学遊び、料理、昔遊びなど交流を促進し、五感を総動員する発達支援になるよう工夫している。活動の展開は毎年約50会場、参加者5,000人、スタッフ2,000人で実施している。

2 「市村自然塾九州」一宿泊共同体験で培う豊かな心一

11:25~11:55

合谷正一郎（佐賀県鳥栖市） 特定非営利活動法人「市村自然塾 九州」 塾頭
黒田隆太郎（佐賀県鳥栖市） 特定非営利活動法人「市村自然塾 九州」 事務

「市村自然塾」は、リコー、コカ・コーラウエスト、リコー三愛グループの地域社会貢献活動の一環として、2002年に特定非営利活動法人の認証を受け、2003年3月から活動を開始。「生きる力を大地から学ぶ」を基本理念に、農作業を中心とした自然体験活動、寝食を共にした共同生活を通じて、子どもたちの健全な育成、成長を支援することを目的にしている。

特徴は、通年定期的共同合宿型活動で3月から12月までの週末（金・土・日）を18回、延べ54日間、男女それぞれ30名が隔週で通塾する。また、9ヶ月間同じ子どもが活動することにより、仲間との付き合い方、譲り合い方、協力の仕方などを学ぶ。運営費用は、寄付金や会費で運営し、主要支援先はコカ・コーラウエスト㈱。なお、塾生は交通費以外は無料となっている。

3 日置市「おひさま」運動ー「風格ある教育」を目指す実践4項目ー

12:00~12:30

山田 哲夫（鹿児島県日置市） 日置市教育委員会社会教育課 参事兼社会教育主事

「お・ひ・さ・ま」は市民が設定した教育実践4項目のスローガンの頭文字をとったものである。この4項目は教職員、PTA役員、一般保護者と子ども、市役所職員、社会教育関係団体など約1,200人から標語化のためのアンケートを行って作成したものである。キーワードはそれぞれに「お」が「思いやり（あいさつ）」、「ひ」が「広げよう読書」、「さ」は「さわやかな汗（スポーツ・健康）」、「ま」は「守ろうきまり」である。また、それぞれに関連した事業は、「お」が「学校応援団ボランティア」、「ひ」が「日置市民総ぐるみ読書活動推進計画」、「さ」が「梅マラソンジョギング大会」・「妙円寺詣り」、「ま」が「おひさま運動会員証」の発行などである。運動成果の確認のため「家庭の日（第3日曜）」等での自己評価を奨励している。